

JAPIC NEWS

contents

■ 巻頭言

医薬品の費用対効果評価の動き

一般財団法人 日本医薬情報センター 理事長 村上 貴久 2

■ インフォメーション

4月発行 2019年版「医薬品製造販売承認品目一覧」..... 4

4月末発売! JAPIC「医療用・一般用医薬品集インストール版2019年4月版」

「改訂新版 重篤副作用疾患別対応マニュアル 第1集」発行しました!

..... 5

薬系大学新1年生向けに

日本の医薬品 構造式集 2019を無償提供! 6

平成31年度(2019年度)JAPICユーザ会開催案内

2019年度学会等出展予定 7

広島国際大学薬学部で「iyakuSearch」検索講習会を行いました

■ トピックス

JAPICサービスの紹介 「医薬品情報に関するデータベース」

..... 8

■ 外国政府等の医薬品・医療機器等の安全性に関する規制措置情報よりー(抜粋)..... 10

■ 図書館だより No.346 11

■ 情報提供一覧 11

4

April
2019

No.420

JAPIC
Japan Pharmaceutical Information Center

一般財団法人 日本医薬情報センター

巻頭言

kantohgen

医薬品の費用対効果 評価の動き



一般財団法人 日本医薬情報センター 理事長

村上 貴久

Murakami Takahisa

2016年以来、厚生労働省の中央社会保険医療協議会（中医協）では、医薬品等の費用対効果分析及びその価格への反映について議論が重ねられてきた。

2019年2月6日には、第16回中医協費用対効果評価専門部会・薬価専門部会・保険医療材料専門部会合同部会において関係業界から意見聴取が行われ、2月20日には、第17回合同部会において「費用対効果評価について 骨子（案）」及び分析ガイドライン案が了承された。同日、中医協総会に上程・了承されたので、2019年度より本格実施されることになるだろう。（本稿を書いているのは3月5日）

この措置は、2015年6月及び2018年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針」に基づくものであり、基本方針には「医薬品や医療機器等の保険適用に際して費用対効果を考慮することについて（中略）速やかに本格的な導入をすることを目指す」等と書き込まれている。

わが国のみならず、科学技術の進展と高齢化によって、先進諸国では、国民医療費（薬剤費を含む）の高騰が問題視され、主要な政策課題として認識されている。わが国の今回の動きもその一環と考えることができる。

特にわが国は国民皆保険の枠組みの中で、医薬品については公定薬価を定めていることもあり、従来から、中医協等の場において医薬品価格を「適正」なものとするという意見が強かった。これに応えるため、1981年以降、中医協は「新医薬品の薬価算定に関する懇談会」を組織し、日薬連、PhRMA、EBC等からの意見を聴取して、「適正」な医薬品価格を設定するための仕組みを試行錯誤しながら作ってきた経緯がある。1982年には、報告書がとりまとめられ、厚生大臣に答申が行われた。この報告書の算定方式を用いて新医薬品の有用性等を評価し、薬価を定めていたが、薬価算定のより一層の透明化を図る観点から、2000年に手続き及び算定基準が明文化され、「薬価算定の基準について」として公開される一方、薬価の算定を行う専門家の委員会「薬価算定組織」が発足し、客観的評価を行うことになった。

2月20日の中医協合同部会に、参考資料として「新医薬品の薬価算定方式」（図1）が配布されている。この図を見てわかるように、薬価算定に当たっては「既存技術では達成できなかった有効性・安全性が達成できているか」を評価し、高い有用性等が認められる場合には価格上乗せの補正加算を行うことになっている。この評価の基礎は、治験において収集された各種エンドポイントに関する資料等である。

ところで、旧聞に属するが、米国のオバマ前大統領は、2015年年頭の一般教書演説において、「（ゲノム情報を利用し）本当に効く薬を、効く人に対して投与する、『精密医療（Precision Medicine）』に政策的に取り組む」と述べている。大統領としてタイムリーな演説であったと思うし、それが実現しつつあると思う

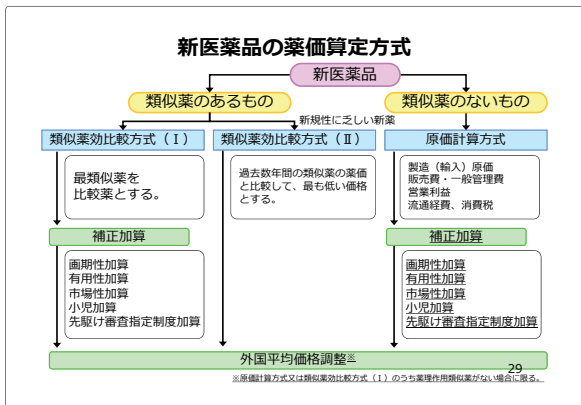


図1 新医薬品の薬価算定方式

が、精密医療の目指すところは、「特定の患者集団に対して著効を示す医薬品等の開発」であるということを変更して考えるべきだとも思う。ターゲットとなる患者集団が少数であれば、評価可能な症例数を収集する時間にかかるし、医薬品を発売しても数量的にはたくさんは売れない。製薬企業が投下資本を回収し、健全な医薬品開発サイクルを維持するためには医薬品単価を高く設定する必要がある。

今回導入される費用対効果評価は、「償還の可否判断」すなわち保険収載するかどうかの判断には使われないとされていることは適切な判断だと思う。また、2月20日の資料、「費用対効果評価の分析・評価の流れ」(図2)によれば、分析対象となる品目選定は中医協が行うものの、その後の分析等は、製薬企業側と評価側とで協議しながら進めていくことになっている。資料を読む限り、基本的には医薬品等の使用に

より、患者の「質調整生存年 (Quality-Adjusted Life Year: QALY)」がどれだけ伸びるかを指標とし、1QALY伸びるためのコストすなわち「増分費用効果比 (Incremental Cost-Effectiveness Ratio: ICER)」で評価するようである。

しかしながら、医薬品については、薬効領域ごとに達成される治療効果が質的に異なると考えられ、増分の目盛りの標準化は難しい。また、新医薬品が費用対効果分析の対象として選定された場合、治験で得られた資料以外に、どのような資料が分析に使われるのであろうか。治験のエンドポイントの中にはQALYの概念を含んでいる場合があり、むしろ、その情報を基に有用性加算が行われているのではないかとすると、新医薬品の最初の値付けの際の有用性加算の議論と、薬価収載後の費用対効果分析とはどのような関係になるのだろうか。先に述べたような精密医療に属する新薬 (少数の患者に対して著効を示すような薬剤) についてはどのような配慮がされるのだろうか。

限られた財源のもとで、効率的な医療を達成するために、費用対効果分析は必要なことであろうと思う。先進諸国でも、いくつかの試みが行われている。しかし、まだ、グローバルスタンダードが確立されているとは言い難い。

2月26日の閣議後記者会見で、根本厚生労働大臣は、医療保険財政の増大に懸念を示しつつも、「国民皆保険の持続性とイノベーションの推進の両立が必要」と述べておられた。費用対効果分析の今後の運用において、健全な方向で協議・議論が進んでいくことを期待する。

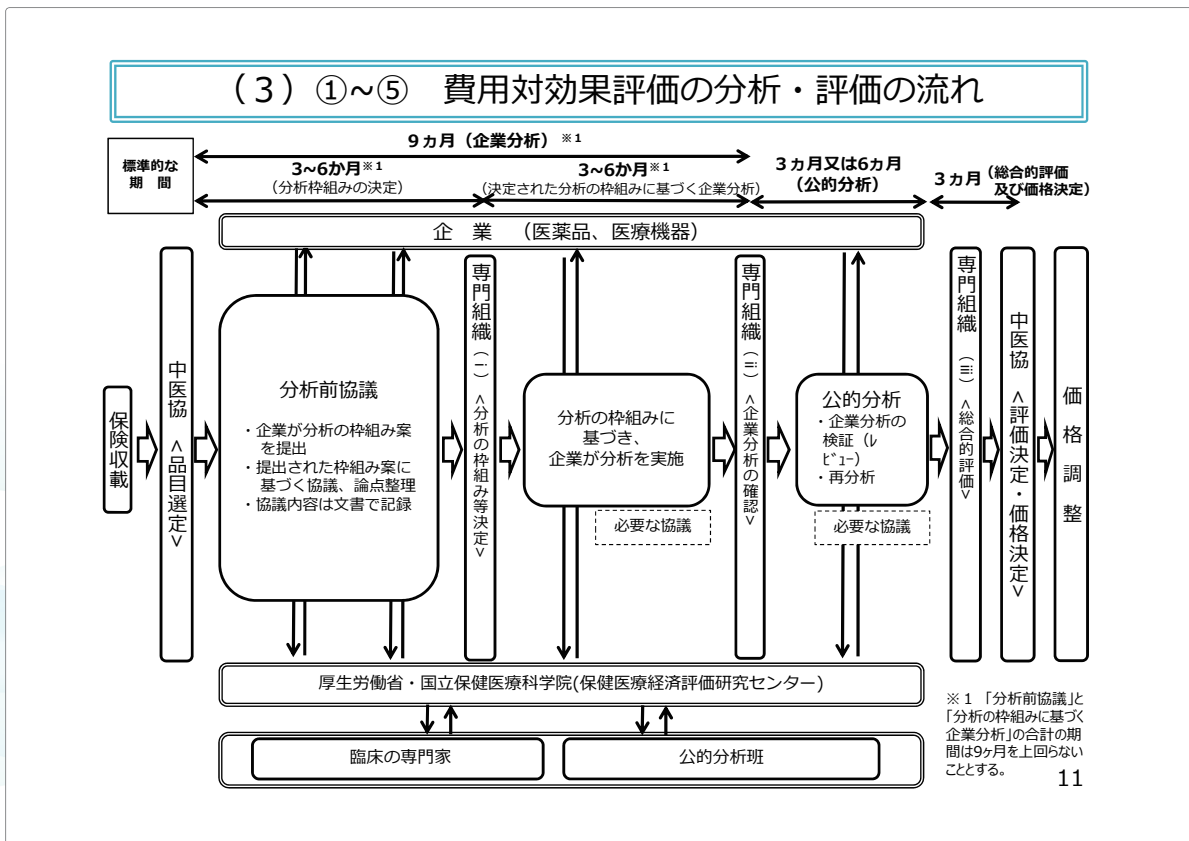


図2 費用対効果評価の分析・評価の流れ

※1 「分析前協議」と「分析の枠組みに基づく企業分析」の合計の期間は9ヶ月を上回らないこととする。 11

4月発行

2019年版「医薬品製造販売承認品目一覧」

JAPICでは、厚生労働省から日本製薬団体連合会を通じて医薬品の製造販売承認資料を入手し、JAPICデータベース「SHOUNIN (ショウニン)」(更新月1回)でご提供しており、更に1年分をまとめて「医薬品製造販売承認品目一覧」(1986年創刊)を作成しております。

この度、厚生労働大臣の承認に係る医薬品(2018年1月から12月までの承認分)を収録した2019年版を発行いたしました。編集内容は、ご利用いただきやすいよう医療用、一般用(要指導医薬品を含む)別に、それぞれ商品名の五十音順で配列しております。

ご購入をご希望の方は、FAXにて下記宛にお申し込み下さい。

- ◆価格:会 員 10,000円(+税)
- 非会員 20,000円(+税)

[お問合せ先] 事務局 業務・渉外担当 (TEL:0120-181-276 FAX:0120-181-461)

4月末発売!

JAPIC「医療用・一般用医薬品集インストール版2019年4月版」

◇医療用および一般用医薬品の添付文書情報を収録したWindows対応CD-ROM。

(医療用・一般用ともに2019年3月までのJAPIC入手分を収録)

◇製品情報、医薬品集本文データの検索・表示・印刷・データ出力が可能。

データ出力形式は、タブ区切り/カンマ区切りテキスト(csv)から選択できます。

◇薬価、先発品等/後発品情報、規制区分、剤形、添加物、
薬剤識別コード情報なども収録し、さまざまな角度から検索できます。

◇完全インストール仕様により、スピーディな検索・結果表示を実現。
インターネット環境のない薬剤モニタリング業務などにも最適です。

◇インターネット経由で、最新の添付文書PDFの表示も可能です。
(医療用:週1回更新、一般用:月1回更新)

- ◆価格:単回 13,000円(+税)
- 年間セット4枚(4月・7月・10月・1月) 23,806円(+税)



「改訂新版 重篤副作用疾患別対応マニュアル 第1集」発行しました！

重篤副作用疾患別対応マニュアルは厚生労働省の重篤副作用疾患総合対策事業として、作成され、厚生労働省、医薬品医療機器総合機構のホームページで公開されたマニュアルを纏めて冊子化したものです。今まで第1集から第5集まで出版して参りましたが、今回、平成30年6月に公表された新規2マニュアルと平成29年6月・平成30年6月に改定された12マニュアルを纏め、「改訂新版 重篤副作用疾患別対応マニュアル 第1集」として発行いたしました。日常の業務にご活用いただければ幸いです。

「改訂新版 重篤副作用疾患別対応マニュアル 第1集」の14マニュアルは以下のとおりです。



新規：多形紅斑、低カリウム血症

改定：[第1集掲載] スティーブンス・ジョンソン症候群、中毒性表皮壊死融解症（中毒性表皮壊死症）、間質性腎炎（尿細管間質性腎炎）、急性腎障害（急性尿細管壊死）

[第3集掲載] 高血糖、骨吸収抑制薬に関連する顎骨壊死・顎骨骨髓炎、骨粗鬆症

[第4集掲載] ネフローゼ症候群

[第5集掲載] 血管炎による腎障害（ANCA関連含む）、腎性尿崩症、腫瘍崩壊症候群、低血糖

◆価格

定価 本体1,920円（+税）。B5判 約240ページ

JAPIC会員特価 本体1,728円（+税）

会員の皆様には業務担当者宛に1部無償でお送りしました。

ご購入は事務局 業務・渉外担当までお願いします。（TEL：0120-181-276）

※第1集～第5集もあわせてご利用ください。（青字の疾患が改定されました。）

第1集 平成19年7月25日発行	スティーブンス・ジョンソン症候群、中毒性表皮壊死症、薬剤性過敏症症候群、横紋筋融解症、白質脳症、薬剤性パーキンソニズム、偽アルドステロン症、非ステロイド性抗炎症薬による喘息発作、間質性肺炎、急性肺損傷・急性呼吸窮迫症候群、再生不良性貧血、出血傾向、薬剤性貧血、無顆粒球症、血小板減少症、血栓症、播種性血管内凝固、 間質性腎炎 、 急性腎不全
第2集 平成20年7月25日発行	非ステロイド性抗炎症薬による蕁麻疹/血管性浮腫、喉頭浮腫、血管性浮腫、アナフィラキシー、偽膜性大腸炎、消化性潰瘍、麻痺性イレウス、薬物性肝障害、悪性症候群、薬剤惹起性うつ病
第3集 平成21年7月31日発行	網膜・視路障害、緑内障、肺水腫、胸膜炎、胸水貯留、 高血糖 、急性汎発性発疹性膿疱症、末梢神経障害、ギラン・バレー症候群（急性炎症性脱髄性多発神経根ニューロパチー、急性炎症性脱髄性多発神経炎）、ジスキネジア、痙攣・てんかん、 ビスホスホネート系薬剤による顎骨壊死 、薬物性口内炎、抗がん剤による口内炎、甲状腺中毒症、甲状腺機能低下症、急性膝炎（薬剤性膝炎）、心室頻拍、うっ血性心不全、 骨粗鬆症 、尿閉・排尿困難
第4集 平成22年7月1日発行	アカシジア、運動失調、急性好酸球性肺炎、血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）、重度の下痢、新生児薬物離脱症候群、セロトニン症候群、頭痛、手足症候群、難聴、 ネフローゼ症候群 、肺胞出血、ヘパリン起因性血小板減少症（HIT）、薬剤による接触皮膚炎
第5集 平成23年7月20日発行	角膜混濁、急性散在性脳脊髄炎、 急性腎盂腎炎 、出血性膀胱炎、 腫瘍崩壊症候群 、小児の急性脳症、 腎性尿崩症 、 低血糖 、特発性大腿骨頭壊死症、無菌性髄膜炎、薬物性味覚障害、卵巣過剰刺激症候群

薬系大学新1年生向けに 日本の医薬品 構造式集 2019を無償提供!

薬学教育支援の一助として、本年度も**日本の医薬品 構造式集 2019**を無償提供しました。薬系大学の新1年生向けに、各校ご利用の希望数を伺い、本年度は68校・合計13,000部を超える依頼をいただき、3月中旬に送付いたしました。

医薬品についての知識や技能の習得を補い、いづらかでも薬学と薬剤師教育の発展と高度化にお役に立ちたいとの思いから、薬系大学への「日本の医薬品 構造式集」の無償提供を毎年実施しております。提供先大学からは、教育現場で広く有効に利用されているとのご報告をいただいております。

このような事業を継続できますのもJAPIC会員の皆様のご支援の賜物と感謝しております。

日本の医薬品構造式集

- ・「JAPIC医療用医薬品集2019」収録成分から一部の高分子製剤、低分子製剤などを除く約1,400成分の構造式を収録しております。
- ・各成分には構造式のほか、一般名・化学名・薬効分類・効能効果・分子量・分子式を記載しております。
- ・索引は五十音（和文）索引とアルファベット索引の2種類を収録しており、五十音索引では製品名による検索ができます。

◆価格：1,800円（+税）。B5判 約200ページ
〔販売：丸善出版株式会社〕



平成31年度（2019年度）JAPICユーザ会開催案内

平成31年度（2019年度）のJAPICユーザ会を下記の日程で開催します。
詳細は次号及びホームページでご案内します。

- ☆2019年6月17日（月）13：00～17：00 東京 日本薬学会長井記念ホール
- ☆2019年6月19日（水）13：00～17：00 大阪 大阪ブリーゼプラザ

2019年度 学会等 出展予定

大会名	期間	開催地
第22回日本医薬品情報学会総会・学術大会	6月29日～30日	札幌市教育文化会館
国際モダンホスピタルショー2019	7月17日～19日	東京ビッグサイト
日本臨床疫学会 第3回年次学術大会	9月28日～29日	パピヨン24 (福岡)
第29回日本医療薬学会年会	11月 2日～ 4日	福岡国際会議場
第39回医療情報学連合大会	11月21日～24日	幕張メッセ

*開催内容につきましては変更される場合があります。

広島国際大学薬学部で「iyakuSearch」検索講習会を行いました

「iyakuSearch」はJAPICが作成・提供する医薬品情報データベースです。JAPICでは、JAPIC維持会員機関を中心に、「iyakuSearch」検索講習会を実施しています。

大学等教育機関向けの検索講習会では、主に医薬品情報学の講義時間をお借りして情報検索演習の一環として行っており、参加した学部生のみなさんには説明を聞くだけでなく、実際にパソコンを操作しながら検索例題や演習問題を解いていただき、文献の検索方法や添付文書の入手方法を習得していただきます。

広島国際大学薬学部では2015年度から「iyakuSearch」検索講習会を毎年実施しています。

今年度は2019年1月9日に学部生に対して、医薬品の有効性や安全性・品質に関する文献を収集した「医薬文献情報」、医薬品の有効性や安全性・品質に関する学会発表を収集した「学会演題情報」の他、「医療用医薬品添付文書情報」、「一般用医薬品添付文書情報」の4つのデータベースを使って「iyakuSearch」検索講習会を行いました。

「iyakuSearch」は、医薬品開発・市販後調査・安全業務のリスクマネジメントプロセスとリンクする多岐にわたった医薬品情報を提供しており、どなたでも無料で検索できる医薬品情報データベースポータルです。また、上記4つのデータベースはスマートフォンから検索できるインターフェースを用意しておりますので、いつでもどこからでも、自由にお試しください。

なお、JAPICでは、教育機関に限らず、製薬企業のiyakuSearchご利用機関向けにも検索実習を行っています。ご興味のある方は是非お問い合わせください。

— JAPICが提供するサービス —

医薬品情報に関するデータベース

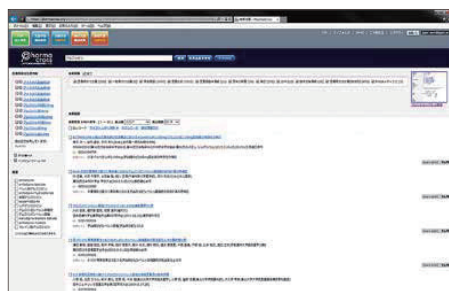
国内外の医薬品情報を網羅したデータベースをご提供します。



JAPIC 医薬品情報総合検索サービス

JAPICが提供する文献・学会、添付文書等の医薬品情報データベースを基本に、医薬品集・構造型集等の書籍・CD-ROMのデータを集約し、医薬品情報をワンストップで統合的に検索するサービスです。ワンクリックで必要な情報を網羅的に検索することができます。本サービスはJAPIC会員向けのサービスです。ご利用いただくには、別途料金がかかります。

<https://pharmacross.org/>



● 簡易統合検索

各コンテンツをワンクリックで横断的に検索します。

● 詳細検索

医薬文献・学会演題情報と医療用・一般用添付文書情報では、AND・OR・NOT等の演算子や括弧を利用し検索でき、検索式構築支援機能も実装。

● 利用者用個人領域（マイフォルダ）の設定

使用した検索式や検索結果を利用者ごとにマイフォルダに保存可能。

● ニュース画面

TOP画面にはJAPIC Daily Mail Headline やPMDA メディナビ、厚生労働省医薬品・医療機器等安全性情報を見られます。

iyakuSearch

医薬品情報データベース

医薬文献情報、学会演題情報、国内に流通する医療用・一般用医薬品の添付文書情報など、あらゆる医薬品情報を整理・編さんしたデータベースです。どなたでも無料でご利用いただけます。JAPIC独自に蓄積したデータに加え、外部機関と提携したより幅広い分野のデータ提供に努めています。

<https://database.japic.or.jp/>



iyakuSearchPlus

医薬品情報データベース

有料の会員登録をさせていただくことで、iyakuSearchの無料コンテンツに加え、さらに医薬文献の抄録など付加情報をご利用いただけるサービスです。

利用料金 登録料金：10,290円（消費税等8%込）／年
（JAPIC会員機関の方は無料となります）

● 自動ログイン

クッキー認証、IPアドレス認証

● J-STAGE

総合学術電子ジャーナルサイトの電子ジャーナルリンク機能

● JAPIC Daily Mail DB

規制措置情報データベース連携

提供データの該当項目（P.9 参照）

	医薬文献情報	学会演題情報	医療用・一般用 添付文書情報	臨床試験情報	日本の新薬	承認	JAPIC Daily Mail DB
PharmaCross	○	○	○	○	○	○	○
iyakuSearch	○	○	○	○	○	—	○

その他「学会開催情報、医薬品類似名称検索、効能効果の対応標準病名」はiyakuSearchをご利用ください。

JAPICサービスの紹介

■提供データ一覧

PharmaCross、iyakuSearchでご利用いただける医薬品情報データベースをご紹介します。

区分	内容	情報源・収集データ
医薬文献情報 月1回更新	1983年以降約54万件 医薬品の有効性や安全性に関する文献情報を収載	雑誌論文 (国内誌約470誌、海外誌13誌) 書誌的事項 (標題、著者名・所属機関、雑誌名等) 付加情報:医薬品名、疾病名、副作用名等の内容に関するキーワード、抄録
学会演題情報 月1回更新	1993年以降約140万件 国内で開催される医学・薬学関連の学会演題情報を収録	国内開催の約5,000学会発表演題・プログラム 書誌的事項 (標題、演者・研究者名・所属機関、学会名等) 付加情報:医薬品名、副作用名、安全性に関するキーワード
医療用・一般用 添付文書情報 医療用週1回更新 一般用月1回更新	医療用医薬品 約22,000品目 一般用医薬品 約11,000品目 医療用医薬品、一般用医薬品の添付文書情報が閲覧可能	医療用、一般用医薬品添付文書 医療用、一般用医薬品添付文書PDF
臨床試験情報 随時更新	登録者からの情報 医薬品に関する臨床試験の概要及び結果を登録	登録者からの情報 試験の名称・概要、試験の内容 (薬剤名、疾患名、目的、フェーズデザイン等)、問い合わせ先
日本の新薬 随時更新	1998年1月公開分以降1,186品目 新薬承認関連資料の内「審査報告書」と「審査結果報告書」を収録	新薬承認審査報告書 新薬承認審査報告書の全文、構造式、医薬品名、申請区分、剤形、会社名等
承認 月1回更新	医薬品の承認年月日に関するDB	厚生労働省からJAPICに提供される「医薬品承認情報」を情報源とし、収録項目は承認番号、承認年月日、名称 (販売名)、薬効、業者名、業者コード、用途 (医療用、一般用) を収録
JAPIC Daily Mail DB ※1 随時更新	2004年1月からのメール配信情報 医薬品・医療機器の安全性に関する規制措置情報をメール配信	海外及び国内の規制当局のホームページ (約80サイト) JDM No.及び送信日、情報発信国及び発信機関、日本語概要、該当原文ファイル
学会開催情報 月2回更新	国内の医学・薬学関連学会、地方会等の開催情報を収録	雑誌、業界紙、学会ホームページ 1996年以降学会名、開催日、開催地、会場名、連絡先、予稿集、入手状況等
医薬品類似名称検索 随時更新	医療用医薬品の名称約8,000件 任意の医薬品の名称が既存の医薬品と類似していないか検索可能	医療用添付文書 既存医薬品名称の類似性についての各種指標 (新規医薬品名称については有料)
効能効果の 対応標準病名 月2回更新	要登録 医療用医薬品約22,000品目、標準病名約17,000 医療用医薬品添付文書の「効能効果」と「標準病名」を相互検索	標準病名マスター、JAPIC病名辞書、 医療用医薬品添付文書 病名、商品名、一般名、薬効分類、ICD10から検索可能

※1 JAPIC Daily Mail DBについては別途契約が必要です (JAPIC会員でJDMご利用企業・機関ご所属の方は無料)

一部のデータベースは、下記の提携サイトからも検索できます (有料)

- JDream III (株式会社ジー・サーチ)

<https://jdream3.com/>

JAPICDOC (医薬文献情報)

- 日経テレコン(株式会社日本経済新聞社)

<https://telecom.nikkei.co.jp/>

医薬文献情報・学会演題情報・医療用添付文書・一般用添付文書・日本の新薬・学会開催情報・承認品目情報

外国政府等の医薬品・医療機器等の 安全性に関する規制措置情報より－(抜粋)

2019年2月1日～2月28日分のJAPIC WEEKLY NEWS (No. 688-691) の記事から抜粋

■米FDA

- 輸液ポンプ、輸液用ウォーマー、急速注入器と関連する血管内Air-in-Lineおよび空気塞栓症のリスク
<<https://www.fda.gov/MedicalDevices/Safety/AlertsandNotices/ucm630142.htm>>
- AbiomedのImpella RP Systemを使用している患者における死亡率の増加：医療従事者向けレター
<<https://www.fda.gov/MedicalDevices/Safety/LetterstoHealthCareProviders/ucm630610.htm>>
- Medtronic, Inc., 回路エラーの可能性により、デュアルチャンバー植込み式パルス発生器 (IPGs) を回収
<<https://www.fda.gov/MedicalDevices/Safety/ListofRecalls/ucm631470.htm>>
- Drug Safety Communication: 米FDA, 痛風治療薬Uloric (febuxostat) による死亡のリスク上昇について、枠囲み警告に追加
<<https://www.fda.gov/downloads/Drugs/DrugSafety/UCM631586.pdf>>

■カナダHealth Canada

- LARTRUVO (olaratumab) 一処方への判断に重要な新規臨床試験情報
<<https://healthycanadians.gc.ca/recall-alert-rappel-avis/hc-sc/2019/68974a-eng.php>>
- hydrochlorothiazideの使用および非黒色腫皮膚癌のリスクに関する重要な新規安全性情報
<<https://healthycanadians.gc.ca/recall-alert-rappel-avis/hc-sc/2019/68976a-eng.php>>

■EU・EMA

- News and press releases: sartan医薬品：企業は不純物nitrosamineの存在を排除するため、製造プロセスをレビューすべきである
<https://www.ema.europa.eu/documents/press-release/sartan-medicines-companies-review-manufacturing-processes-avoid-presence-nitrosamine-impurities_pr.pdf>
- 直接経口抗凝固薬(DOACs) - EMAはDOACsによる出血のリスクに関する研究のレビューを開始
<https://www.ema.europa.eu/documents/other/direct-oral-anticoagulants-doacs-ema-starts-review-study-bleeding-risk-direct-oral-anticoagulants_en.pdf>
- News: EUで販売されている医薬品に関する新たな安全機能
<<https://www.ema.europa.eu/en/news/new-safety-features-medicines-sold-eu>>
- News and press releases: 心拍リズムの異常の潜在的リスクのため、fenspiride医薬品を差し止め
<https://www.ema.europa.eu/documents/referral/fenspiride-containing-medicinal-products-article-107i-referral-suspension-fenspiride-medicines-due_en.pdf>
- News and press releases: EUにおける医薬品の評価および管理のためのビッグデータの役割
<<https://www.ema.europa.eu/en/news/role-big-data-evaluation-supervision-medicines-eu>>

■英MHRA

- SGLT2阻害剤：フルニエー壊疽（生殖器または会陰の壊死性筋膜炎）の報告
<<https://www.gov.uk/drug-safety-update/sgl2-inhibitors-reports-of-fournier-s-gangrene-necrotising-fasciitis-of-the-genitalia-or-perineum>>

■独BfArM

- carbimazoleまたはthiamazole含有医薬品のRote-Hand-Brief: 急性膵炎のリスクおよび避妊に関する勧告の強化
<https://www.bfarm.de/SharedDocs/Risikoinformationen/Pharmakovigilanz/DE/RHB/2019/rhb-carbimazol_thiamazol.html>

JAPIC事業部門 医薬文献情報（海外）担当

記事詳細およびその他の記事については、JAPIC Daily Mail (有料) もしくはJAPIC WEEKLY NEWS (無料) のサービスをご利用ください (JAPICホームページのサービス紹介: <<https://www.japic.or.jp/service/>> 参照)。JAPIC WEEKLY NEWSサービス提供をご希望の医療機関・大学の方は、事務局業務・渉外担当 (TEL 0120-181-276) までご連絡ください。

図書館で受け入れた書籍をご紹介します。

この情報は附属図書館の蔵書検索 (<https://www.japic.or.jp/iyaku/index.html>) の図書新着案内でもご覧いただけます。

これらの書籍をご購入される場合は、直接出版社へお問い合わせください。

閲覧をご希望の場合は、JAPIC附属図書館 (TEL 03-5466-1827) までお越しください。

〈配列は洋書、和書別に書名のアルファベット順、五十音順〉

書名	著編者	出版者	出版年月
AHFS Drug Information 2019	American Society of Health-System Pharmacists	American Society of Health-System Pharmacists	2019年
European Pharmacopoeia 9.8 (European Treaty Series No.50)	Council of Europe	Council of Europe	2019年1月
Pocket Drugs<2019>	福井次矢監修、小松康宏・渡邊裕司 編集	医学書院	2019年1月
クリプトコックス症の診断・治療ガイドライン2019	一般社団法人 日本医真菌学会 クリプトコックス症の診断・治療 ガイドライン作成委員会	一般社団法人 日本医真菌学会	2019年1月
今日の治療指針 2019年版 (Volume 61) : 私はこう治療している	福井次矢、高木誠、小室一成 総編集	医学書院	2019年1月
今日の治療薬 2019 解説と便覧	浦部 晶夫	南江堂	2019年1月
治療薬ハンドブック 2019 薬剤選択と処方のポイント	高久史麿 監修 堀正二 他編	株式会社じほう	2019年1月
治療薬マニュアル<2019>	高久史麿、矢崎義雄 監修 北原光夫 他編	医学書院	2019年1月
ポケット医薬品集<2019年版>	澤田康文、佐藤宏樹、龍原徹 著	南山堂	2019年1月

情報提供一覧

2019年3月1日～3月31日提供

出版物がお手許に届いていない場合、宛先変更の場合はJAPIC 事務局 業務・渉外担当 (TEL 03-5466-1812) までお知らせください。

情報提供一覧	発行日等	JAPIC作成の医薬品情報データベース	更新日
〈出版物・CD-ROM等〉		〈iyakuSearch〉 Free	https://database.japic.or.jp/
1. [一般用医薬品 (経済課コード)] 2019年2月分 (HP定期更新情報掲載)	3月 1日	1. 医薬文献情報	月 1 回
2. [JAPIC NEWS] No.420 2019年4月号	3月29日	2. 学会演題情報	月 1 回
〈医薬品安全性情報・感染症情報・速報サービス等〉 (FAX、郵送、電子メール等で提供)		3. 医療用医薬品添付文書情報	毎 週
1. [JAPIC Pharma Report海外医薬情報速報] No.1173-1176	毎 週	4. 一般用医薬品添付文書情報	月 1 回
2. [医薬文献・学会情報速報サービス (JAPIC-Qサービス)]	毎 週	5. 臨床試験情報	随 時
3. [JAPIC-Q Plusサービス]	月 1 回	6. 日本の新薬	随 時
4. [JAPIC-Q 医療機器情報サービス]	月 2 回	7. 学会開催情報	月 2 回
5. [外国政府等の医薬品・医療機器の安全性に関する 措置情報サービス (JAPIC Daily Mail)] No.4327-4346	毎 日	8. 医薬品類似名称検索	随 時
6. [JAPIC Weekly News] No.692-695	毎 週	9. 効能効果の対応標準病名	月 1 回
7. [感染症情報 (JAPIC Daily Mail Plus)] No.787-790	毎 週	〈iyakuSearchPlus〉	https://database.japic.or.jp/
		1. 医薬文献情報プラス	月 1 回
		2. 学会演題情報プラス	月 1 回
		3. JAPIC Daily Mail DB	毎 日

外部機関から提供しているJAPICデータベース

〈株式会社ジー・サーチJDreamⅢから提供〉 <https://jdream3.com/>

〈株式会社日本経済新聞社から提供〉 <https://telecom.nikkei.co.jp/>

医療用医薬品集

普及新版2019

2019年
3月発行



本書は「JAPIC医療用医薬品集(B5判 約4,200頁)」をもとに臨床の場で利用される際に必要な項目を選択し、取り扱いやすく、持ち運びに便利なちょっと大きめのポケットサイズ(A5判)に再構成したものです。成分ごとに添付文書記載の効能・効果、用法・用量、禁忌、警告、使用上の注意等、及び半減期情報等を記載。約2,200成分、約21,000製品の医療用医薬品情報を2019年1月時点の最新情報で収録。

■掲載内容

- ◎一般名、製品名
- ◎重要な基本的注意
- ◎承認日(一部製品)
- ◎相互作用(併用禁忌・併用注意)
- ◎組成(規格)
- ◎副作用
- ◎効能・効果、用法・用量
- ◎高齢者への投与
- ◎警告
- ◎妊婦・産婦・授乳婦等への投与
- ◎禁忌、原則禁忌
- ◎小児への投与
- ◎慎重投与
- ◎臨床検査結果に及ぼす影響
- ◎半減期

価格：**4,800**円(+税)
A5判／約2,000頁

一般財団法人 日本医薬情報センター **JAPIC** 編集・発行 TEL 0120-181-276
丸善出版株式会社 発売 TEL 03-3512-3256

上記書籍の他、電子カルテやオーダリングシステムに搭載可能なJAPIC添付文書関連データベース(添付文書データ及び病名データ)の販売も行っております。データの購入希望もしくはお問い合わせはJAPIC (TEL 0120-181-276) まで。



このコーナーは薬用植物や身近な植物についてのヒトクチメモです。リフレッシュにどうぞ!!

からたち

「枳殻」と書く。学名:Poncirus trifoliata (L.) Raf. 英名: hardy orange. みかん科からたち属。落葉低木、幹や枝には鋭い刺がある。中国原産、日本には8世紀頃伝わったという。4月頃に白い花を付け、やがて小さな果実がなり、冬に黄色く熟すが、酸味と苦味が強いので食用にならない。種子にはフラノクマリン誘導体Imperatorin(抗腫瘍細胞活性を有す)等含有。(hy)



JAPICホームページより
<https://www.japic.or.jp/>

HOME ▶ サービスの紹介 ▶ ガーデン
Topページ右下部の「アイコン」からも閲覧できます。